

# 「近畿歴史まちづくりサミット in宇治市」を開催しました！

令和5年12月2日、京都府宇治市において、宇治市と近畿地方整備局の共催により、歴史まちづくりサミットを開催。第7回目となる今回は、歴史まちづくり法に基づく歴史的風致維持向上計画の認定都市のうち、宇治市、長浜市、湯浅町の首長等が集まり、「みち」をテーマに各市町の成り立ちや歴史まちづくりに関する取組、今後の展望などについて意見交換を実施。また、小学生～高校生で構成される朗読劇団による源氏物語朗読劇を行うなど、地域の歴史まちづくりの機運醸成にも寄与。来年度は、豊臣秀吉が初めて一国一城の主となった場所、滋賀県長浜市での開催を予定。

【日 時】 令和5年12月2日(土) 13:30 ~ 16:00

【場 所】 宇治市文化センター 小ホール

【来場者数】 約160名

## 【プログラム】

1. 開会挨拶 松村 淳子 宇治市長、見坂 茂範 近畿地方整備局長
2. 源氏物語朗読劇 『紫さんを待ちながら』 宇治っ子朗読劇団 Genji
3. 基調講演 清水 重敦 京都工芸繊維大学デザイン・建築学系教授  
演題「みちと街区が作り出す長浜・湯浅・宇治のまちの個性」
4. パネルディスカッション 「みちの視点から見たまちの成り立ち」  
「まちの記憶を未来につなぐ これからのまちづくり」  
コーディネーター：清水 重敦 京都工芸繊維大学デザイン・建築学系教授  
パネリスト：松村 淳子 宇治市長、江畑 仁資 長浜市 副市長、楠 義隆 湯浅町 副町長
5. 次回開催都市挨拶：江畑 仁資 長浜市 副市長



源氏物語朗読劇



パネルディスカッション



松村 宇治市長の挨拶



見坂局長の挨拶



清水教授の基調講演



記念撮影